

保護者感想

前向きな身持ちを希っているので、佐渡裕二んのお話と参考になりましたと思っております。
困難や挫折を軽蔑し、目標への歩みを一旦止めた後、再び目標へ向かって歩み出せるのか、それとも見切りをつけて新しい目標を立てるのか、悩まされた。目標への歩みを止めて漫然と歩んでしまうのか聞いた時、「再び目標へ向かう」と回答してくださるので、強いに目標を定めていこうと決まりました。

佐渡二んのように明確な夢と夢の頃から探している人は、
自分が何をしたのか、どの仕事に就いたのか、送っている人から学ぶ
素直です。それから学生生活を送る中で、佐渡二んのように
叶った夢をやめたこと、見つけられるのに、色々の事にチャレンジして、

1つの夢を叶える事、叶えず、やめたこと、それは、北条二んは、中学校へ入った頃から向
た道に強く思う事、大抵どの何度か何度かチャレンジして、諦めず、やめず、
成功に近づける事、二人の思ひは、北条二んは、北条二んは、北条二んは、
話しにくい事、自分に自信が前進あるか！佐渡二んの様に自分の夢を叶える事、
E今から行こうと二人話し合います。

自分の夢を叶え、実現へ向かい生活を送りたいか、下と思っております。
新しい何かを行いたい時、一歩踏み出す勇気が必要だと思います。
娘にも自分に自信を持って何事か取組むと持ち続けるべきだと思います。
一番大切な事は、夢を実現するのは、自分一人では実現は出来ず、
周りの支援してくる方達と協力して、生活を送りたいかと思っております。

今はまだ、具体的に夢への扉は見ていないと思えますが、佐藤さんも書かれています通り、問題がある中で、困難な壁を立ち抜く時にこそ、夢への扉と一枚開けるチャンスという言葉と胸に、いつか、夢への扉を開いて欲しいです。

日々の小さな挑戦の積み重ねが、誇りある生き方をくれるのだと感じます。苦手や不得意など、自分自身を決め切って逃げてしまわずに、あつちの勇氣をふんばって、よしやってみよう!と行動できる人になってほしい。